

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2011
平成23年

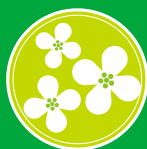
5.15

目次

「しみの広場」	2
田原あおぞら市場	
ハマユウの植栽	
地域の問題	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
ちはらシティニュース	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

花薫る季節
うれしいな！





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 田原あおぞら市場……………2ページ
- ハマユウの植栽……………3ページ
- 地域の話(中山校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

投稿 震災支援チャリティーイベント

田原あおぞら市場

田原しみん震災支援ネット

皆さんこんにちは。私たち田原しみん震災支援ネットは、東日本大震災の被災地・被災者支援のため、民の支援の輪を作ろうと、市内の市民活動団体などが中心となり結成しました。今回は、4月17日(日)に開催した「田原あおぞら市場」をご紹介します。



● イベントの様子

イベントで支援の輪を広げよう

私たちの最初の支援活動として開催したのが「田原あおぞら市場」です。これは、東日本大震災に配慮して中止となった市民緑花まつりの同日に、震災支援のためのチャリティーイベントを企画したものです。売上金の半額を義援金にすることを条件に出店者を募ったところ、44店舗と多くの市民の方々の賛同を得て、開催にこぎつけることができました。

イベント当日、会場のはなのみ広場には、多くのテントや軽トラックの荷台を使ったお店などが軒を並べました。飲食物のほか、野菜や花などの農産物、植木、雑貨、木製品などの店が



● イベントは子どもたちにも好評でした

民の力で継続的な震災支援を

ずらり。天候にも恵まれ、多くの市民の方にご来場いただき、74万4857円の義援金を集めることができました。

翌18日(月)、私たちはイベントの売り上げの半額と募金で集めた義援金を手に、田原市社会福祉協議会を訪れました。同協議会を通じて、義援金を中央共同募金会に送るため、事務局長に手渡しましたのでご報告します。皆さん、ご協力ありがとうございました。

今後も田原しみん震災支援ネットでは、被災地への継続的な支援を行うため、市内のボランティア団体など



▲義援金を手渡す各名代表(写真中)

どのつながりを強め、さまざまな取り組みを行っていきたいと思います。市民の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いします。



● 少しずつハマユウ咲く浜辺を取り戻してきた恋路ヶ浜

投稿 取り戻そう！ハマユウ咲く浜辺

市民発！ ハマユウの植栽活動

渥美青年経済研究会

皆さんこんにちは。私たち渥美青年経済研究会（青研）は郷土の産業発展に役立つと、42年前に設立した団体です。今回は、その活動の一環として行っている、ハマユウの植栽についてご紹介します。



ハマユウ咲く浜辺を目指して

私たち青研がハマユウの植栽を始めたのは、24年前のことです。その昔は、ハマユウの群生地だったという恋路ヶ浜。その美しかったハマユウの群生は、いつしか乱獲などにより、ほとんど見られなくなっていました。当時の青研会員が、ハマユウ咲く美しい風景を取り戻そうと植栽活動を始めたのだと先輩方から聞きました。活動を始めるにあたり、宮崎県でハマユウの植栽活動を行っていた団体に、学びにも行つたそうです。今では、恋路ヶ浜だけでなく白谷海岸でも植栽を行うなど、市内のさまざまな海岸で活動を行うようになっていきました。

次世代へ残したい郷土の財産

今年は、4月12日（火）に、恋路ヶ浜でハマユウの植栽を行いました。伊良湖小学校の4〜



▲ 苗を植えた子どもたちと青研会員ら

今年度は、伊良湖小学校で、子どもたちにハマユウの苗を育ててもらおうと計画しています。そして、自分たちが育てた苗を植え、いつの日か立派に花を咲かせ、岬を美しく彩る郷土の風景に、誇りと愛着を持ってもらえたらと願っています。

6年生の児童17名と青研会員40名で、海岸清掃をした後に200株の苗を植えました。
ハマユウ咲く海辺の風景は、郷土の財産です。



● 苗の植え方の説明を真剣に聞いています



● ハマユウの苗を植える子どもたち



▲開花の遅れた桜はつぼみが目立ちました



▲“さくらまつり”の会場となった小中山児童公園

地域の話題

中山校区

“さくらまつり”

「心の和と輪がはぐくむめぐもり安心わが校区」を将来像に、意欲的にまちづくりを進めている中山校区から、地域のふれあいイベントについて、お便りが届きました。



東

日本大震災の発生後、被災地の状況に配慮し、各地で予定されていたイベントが軒並み中止になりました。中山校区でも、春の恒例行事「さくらまつり」の開催に賛否両論ありましたが、「こんなときだからこそ元気になるイベントを」「校区の一部は津波浸水危険区域に指定されているので、防災について考える良い機会になるのではないか」との声を尊重し、4月2日（土）、小中山児童公園で予定どおり「さくらまつり」を開催しました。

校区に愛着を

このまつりは、『中山校区まちづくり推進計画』に掲げた「健全で明るく元気な子どもたちを育てる地域づくり」「校区コミュニティの推進」

の実現を目的としたものです。「地域活動は自治会（中山・小中山）中心で、校区にあまり縁がない」というアンケートの意見に比べ、地域全体の老若男女が集うふれあいの場を提供し、校区の文化施設を再認識してもらおうと、平成19年度から開催しています。

義援金の募集も

今回のまつりでは、日本大震災被災地の復興支援に役立てようと、会場に募金箱を設置して義援金を募りました。また、校区役員から、当日朝に漁獲した新鮮な魚が桶3杯分も提供されるといふ粋な計らいがありま



▲新鮮魚のチャリティー販売は完売

した。魚は格安で参加者に振る舞われ、その売上金も義援金として生かされました。

イベントの成果を実感

まつり会場の児童公園は小中山地区にあり、外周が桜の木で囲まれた校区一のお花見スポットです。今年は桜の開花が遅かったため、この日は残念ながら満開とはいきませんでした。それでも約300人の皆さんに来場していただきました。

友人同士の「やっとかめだのん」というあいさつや、親子の楽しそうな歓声が一日中公園に響いていました。また、中山地区の方からは「この公園にきたのは小学生以来だ」「こんなに広い公園があったんだ」という声も聞かれ、地区を越えた交流の広がりを感ずることができました。

中山校区では、これからもさまざま

なイベントや教室を通し、校区コミュニティの熟成はもちろん、東海・東南海地震を想定した防災対策について、意識の高揚が図られるよう、工夫していきます。



市民活動を応援するページ

市民活動をサポートする

市民協働まちづくり事業補助金

公開審査会を見学してきました！

「市民協働まちづくり事業補助金」は、市民活動団体が提案する公益性の高い事業に対し、田原市が必要経費の一部を補助する制度です。4月23日（土）に、この補助金の採択事業を決定する公開審査会（プレゼンテーション）が開かれましたので、ご紹介します。

本年度で3年目を迎えたこの補助金制度へは、市内9つの団体から提案事業の応募がありました。審査会では、「市民協働まちづくり会議」から選出された5名の審査委員により、事業の「公益性」「必要性」など8項目の基準で審査されました。

各団体からは、提案事業に対する“熱い思い”が伝わってきて、傍聴する側も力が入りました。審査委員との活発な意見交換も行われ、委員の指摘に「新たな気づき」を得た団体もあったようです。また当日は、提案事業に関係する市の職員も出席し、各団体が提案する柔軟な発想の事業の必要性などを確認しました。

審査の結果、今年度採択された事業は表のとおりです。今後、各団体による事業が順次スタートします。市民が参加できる事業も数多くありますので、皆さんもぜひご参加ください。



▲公開審査会の発表風景(田原福祉センター)

●補助金採択事業一覧(得点順)

No.	団体名	事業名	補助要望額
1	たっぷくヘルパーボランティア	地域介護支援ふれあいツアー	100,000 円
2	環境ボランティアサークル 亀の子隊	きれいな海を守る心を育て、きれいな海を守りたいという心を広げる環境プログラム	200,000 円
3	特定非営利活動法人 たはら広場	「図書館で何が出来る？」～図書館を核とする市民活動～	91,000 円
4	里山保全 山遊里	みんなで楽しみ未来につなぐ里山保全活動	79,000 円
5	あつみNPOネットワーク	協働による人材育成と地域力アップ vol. 2	200,000 円
6	特定非営利活動法人 渥美虹の会	福祉啓発事業	135,000 円
7	特定非営利活動法人 うたた	アートの障がいを越えた未来を考える	161,000 円
8	東友クラブ趣味の会	蔵王団地住民の健康・医療又は福祉の増進事業	33,000 円
9	「共生のまち」田原市を考える会	「共生のまち」田原市を考えるフォーラムⅢ	200,000 円

◆たっぷくヘルパーボランティア 代表：酒井修さん

“やさしく住みよい街を、市民みんなでつくる喜びを味わいたい”

高齢化の波が、着実に地域コミュニティに押し寄せています。介護保険制度は、在宅介護で家族を看取りたい方にとって有益なサービスですが、利用基準の見直しなどでハードルが高くなっている感もあります。

そこで、私たちが田原福祉専門学校のホームヘルパー科2級講座で学んだ知識と技術をフォローアップさせながら、そうした方々の思いをくみ、少しでも介護予算の軽減にお役に立てればと考え、事業提案させていただきました。田原福祉専門学校と地域の方にご協力いただきながら、「ふれあい活動」「地域組織介護力向上活動」「福祉サービス情報誌発行」「福祉講演会」などを進めていく予定です。



▲ふれあい活動でサンテパルクを訪問

採択団体の「ふれあい」

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

■ このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局 1111 (内線812) ※ 開設時間のみ ☎23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールリポート

SCHOOL REPORT 34
 学校生活の一コマ
 を紹介

今回は、祖父母を招いた小学1年生の生活科の様子と、講師を招き全校で童謡を楽しんだ集会の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

中山小学校「祖父母学級」

おじいさん、おばあさんと遊んだよ！

今年1月、中山小学校の1年生が、生活科の学習で祖父母から昔の遊びを教えてもらいました。

はじめに、中山小学校についての^{でしバツ}〇×クイズをしました。クイズの内容は子どもたちが考え「1年生は、中山・小中山では、中山の子の方が多い。〇か×か」…「正解は〇。中山の子の方が3人多いです」など、なかなか難しい問題もありましたが、盛り上がりしました。

つぎに、祖父母の方に、昔の遊びとその遊び方の紹介をしていただき、一緒に遊びました。こま・お手玉・あやとり・メンコ・カルタ・おはじき・けん玉・竹とんぼなど。「遊んだのは、もう何十年も前のことだから、忘れちゃったよ」と言いながらも、祖父母の皆さんは、慣れた手つきでいろいろ作って見せてくださいました。子どもたちは、目を輝かせて一緒に遊んでいました。

学校で祖父母と楽しく触れ合うことで、地域での触れ合いも広がってほしいと願っています。



●おばあちゃんに、あやとりを教えてもらったよ！



●みんなでカルタ遊び



●声の出し方に、子どもたちは感動していました



●「ひらいた ひらいた」を歌う1年生

清田小学校「童謡を歌う会」

歌い継いでいきたいね！日本の歌！

清田小学校では、童謡を身近に感じてもらおうと「童謡を歌う会」を開き、全校児童と保護者が参加しました。「日本の歌を歌う会」の講師の方から、知らない童謡や教科書に出てくる「日本の歌」などを教えていただきました。講師の歌の間に学級発表を設け、子どもたちが童謡を歌いました。また、「椰子の実」を会場全員で歌ったときには、まさに古きよき時代にタイムスリップしたようでした。「日本の歌」の温かさが体育館中に広がり、心なごんだ時を過ごしました。情感豊かな歌声に、昔を思い出して涙を流されていた方や「孫と一緒に歌いたい」と喜んで会場を後にした方、「優しい気持ちになりました」などの感想も聞かれました。

^{なまうた}生歌の鑑賞や歌うことを通し、童謡を好きな子が増え、日々の生活の中でも歩きながら口ずさむ子も出てきています。童謡を通して、世代を越えた触れ合いができることを願っています。

4月20日「水」

伝統を受け継ぐ
色鮮やかな凧

子どもの健やかな成長を願う**初凧の制作**が、田原凧保存会で進められています。5月21日(土)に行われる「初凧祈願祭」に向け、今年用の凧の制作が始まったのは昨年末ごろ。注文を受けた約100枚の初凧が、一枚ずつ丹精込めて仕上げられています。



▲真剣なまなざしで凧に筆を入れる絵師の佐々木邦夫さん(田原町)

4月8日「金」

生活を潤す
生きがい身近に

しおさい大学が田原福祉センターで開催され、市民約80名が参加しました。生きがいや趣味づくりを目的に催されるこの講座。初回の「コーヒー講座」では、おいしい淹れ方を実践し、身近なものでもこだわりの持つと楽しみの一つになることなどを学びました。



▲お湯の温度や注ぎ方などで、コーヒーの味わいが変わりました

4月22日「金」

プロから学べる
家庭菜園の「コツ」

いきいき農業セミナーが赤羽根市民センター周辺のは場で行われ、市民7名が参加しました。年16回開催され、野菜の自家栽培方法を学べるこのセミナー。第1回目のこの日、講師から作業方法を教わり、トマトやきゅうりなどの苗を植えました。



▲協力し合って春夏野菜の苗を植える参加者たち



募集

WANTED

田原市立小・中学校 常勤・非常勤講師

▼応募資格Ⅱ次の要件をいずれも満たす方①子どもが好きで学校教育に熱心に取り組むことができる方②教員免許所持者（採用時に取得見込みの方も可）▼勤務条件Ⅱ応相談

▼受付期間Ⅱ随時（市役所執務時間中）▼申し込みⅡ市販の履歴書に顔写真を貼り、必要事項を記入のうえ直接または郵送にて

▼学校教育課

〒441-3492 住所不要

☎23局3679 FAX22局3811

第3回危険物取扱者試験

▼対象Ⅱ一般 ▼試験日Ⅱ7月10日（日）▼場所Ⅱ名古屋市・豊橋市
▼種類Ⅱ甲種・乙種全類・丙種▼申し込みⅡ6月6日（月）～15日（水）の期間に市役所消防課または消防署・各分署にある受験願書に必要事項を記入のうえ郵送、または6月3日（金）午前9時～12日（日）午後5時の期間に（財）消防試験研究センターホームページにて電子申請 ▼その他Ⅱテキストおよび事前講習会については、お問い合わせください。
（財）消防試験研究センターホームページ



HP <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

▼消防課

☎23局4074 FAX23局0180

里親養育体験発表会 参加者

里親（養育型・養子型）の体験発表や里親制度の説明を行います。申し込みは不要で、参加は無料です。ぜひご参加ください。

▼対象Ⅱ一般 ▼日時Ⅱ6月2日

（木）午前10時30分～正午 ▼場所Ⅱ東三河総合庁舎大会議室（豊橋市八町通5番地4）▼定員Ⅱ80名程度 ▼その他Ⅱ託児あり
▼愛知県東三河児童・障害者相談センター
☎（0532）54局6465

節電ライトダウン2011 参加事業所

環境省では、地球温暖化防止のため「ライトダウンキャンペーン」を、毎年夏至の日を中心に行っています。今年は、東日本大震災による節電の必要性を踏まえ、例年のライトダウンに加え、昼のライトダウンの呼びかけも行う「昼も。夜も。節電ライトダウン2011」を実施します。

この夏の電力消費量を抑制するため、昼夜それぞれ2時間以上の消灯を行う取り組みです。田原市でもこの取り組みへの参加事業所を募集します。

▼対象Ⅱ市内事業所、学校など

▼内容Ⅱ6月22日（水）～8月31日（水）の期間、施設照明などを消灯

▼申し込みⅡエコエネ推進室にて配布（市ホームページからもダウンロード可）する登録票に、消灯する施設名や消灯できる時間などを記入のうえ、6月13日（月）までに直接または

FAXにて ▼その他Ⅱ参加事業所数などの実施結果を、市ホームページにて公表します。

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

田原市生活学校 会員

省エネ対策やリサイクル活動、料理教室など、暮らしをより良くするための活動、勉強会を行っています。どなたでも入会できますので、興味のある方は気軽にお問い合わせください。

▼商工観光課

☎23局3516 FAX22局3817

守ろう！電波のルール

電波利用環境保護周知啓発強化期間
6月1日（水）から10日（金）まで

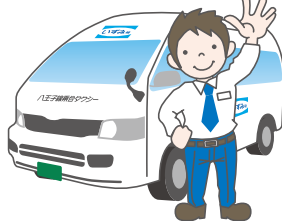
電波を使うには免許が必要です。
電波のルールを守りましょう。

▶総務省 東海総合通信局
不法無線局の相談は☎（052）971局9107
テレビ・ラジオの受信相談は☎（052）971局9648
HP <http://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/>

生活

八王子線「いずみ号」の
運行ダイヤなどを変更

昨年10月から
実証運行を開始
した八王子線
「いずみ号」の
運行計画を改善
するため、6月
1日（予定）か
ら運行日や運行ダイヤなどを変更し
ます。本格運行に向けて、皆さん、
ぜひご利用ください。



※現在、変更手続き中ですので、内
容は実際と異なる場合があります。
▼運行車両＝ジャンボタクシー（乗
客定員9名） ▼運行日＝週5日（月
・水、金、土） ▼運行時間＝午前
8時台～午後4時台

●曜日／運行経路／本数

【東行】

①月・金曜日／馬伏～村松～八王子
（サンテパルク（朝1便は乗換なし
で、渥美病院・田原駅まで運行）／
1日5便（上り2便、下り3便）
②火・水・土曜日／馬伏～村松～八

王子～サンテパルク／1日2便（上
り・下り各1便）

【西行】

火・水・土曜日／八王子東～村松～
馬伏～古田～渥美支所～レイ前～ラ
イランド／1日3便（上り1便・
下り2便）

▼運賃＝1乗車100円、小学生以
下無料 ※【東行】の①渥美病院・田
原駅までの朝1便は、1乗車100
円加算 ▼その他＝時刻表などは市
ホームページや関係地区への回覧な
どでお知らせします。

▼市民協働課

☎23局3504 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

ハローワーク豊橋の
開庁時間を変更

ハローワーク豊橋では、在職者の
方を中心とした職業相談・職業紹介
のため、平日夜間と土曜日にも開庁
していましたが、東日本大震災の被
災地を管轄する労働局への職員応援
派遣などのため、変更させていただ
きました。

●平日夜間開庁（月・水・金曜日）
午後5時15分～7時

●土曜日開庁（第1・第3土曜日）
午前10時～午後5時

※月・水・金曜日の開庁時間は午前
8時30分～午後7時、火・木曜日の
開庁時間は午前8時30分～午後5時
15分となります。

▼ハローワーク豊橋

☎（0532）52局7191

医学の発展のため
献体へご協力ください

医学生、歯学生の教育実習のため
に必要な遺体は、慢性的に不足して
います。医学の発展を願い、自らの
遺体を献納していただける方を探し
ています。ぜひご協力ください。

なお、献体と同時にアイバンクに
も登録されます。

▼（財）不老会田原市支部

☎22局0165

農業生産工程管理手法の導入
を支援するアドバイザー派遣

▼対象＝豊橋市

または田原市に
住所を有し、農
業生産工程管理
手法（GAP）の
導入を目指す農業者および農業生産
法人 ▼内容＝課題に応じて適切な
指導を行うことのできる指導員その
他専門知識を有するアドバイザーを



派遣 ▼派遣費用＝派遣に要する
直接経費の2分の1 ▼派遣回数
＝年間4回まで ▼申し込み＝豊
橋市農政課内へ直接または電話
にて

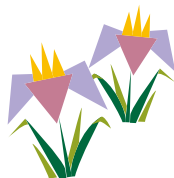
▼豊橋市農政課

☎（0532）51局2471

寄付

DONATION

次の方々からご
寄付をいただきま
した。ご厚意に感
謝します。



▼4月4日、福江中学校平成22年
度第64回卒業生一同様から、福江
中学校の視聴覚機器充実のため、
プロジェクト1台。

▼4月4日、福江中学校平成22年
度PTA会長 井本寿彦様から、福
江中学校の教室環境整備のため、
壁掛け扇風機8台。

▼4月25日、株式会社ジップドラッ
グ様から環境保全活動のため金
11万2993円。

ふるさと寄附金

▼4月4日、匿名希望の方から金
20万円。

広がる未来へ

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

●家庭に太陽光発電がある方は 停電・災害時でも電力を使えます

災害により長期間停電になった場合でも、太陽光発電システムに備わっている自立機能を活用することで、電力を使うことができます。いざというときに、あわてないように、日ごろから準備や練習が必要です。

※停電時に、太陽光発電による電力を使用できる自立運転機能を使うためには自立運転コンセントが必要です。自立運転コンセントを備えた太陽光発電機種は88・3%に上っています（社団法人日本電機工業会調べ）。

- もし災害時に電気を使えたら・・・
- テレビや家電製品を使用できれば、情報を的確につかむことができます。
- 携帯電話などの通信情報機器の充電ができます。
- 冷蔵庫で薬品などを保存できます。
- 電気ポットでお湯を沸かすこともできます。



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1352人・事業所62か所（4月末現在）

61

◆自立運転コンセントの使い方

- 1 自立運転コンセントがどこにあるのか、形状を確認しましょう。
- 2 取扱説明書を読みましょう。機種により自立運転モードへの切り替え操作が異なります。
- 3 主電源ブレーカをONにします。
- 4 太陽光発電ブレーカをONにします。
- 5 自立運転モードに切り替えます。
- 6 接続機器を自立コンセントにつなぎます。長めの延長コードを用意しておくと便利です。
- 7 電気機器使用時は、こまめに発電状況を確認します。
- 8 必ず元に戻しましょう。自立運転モード解除→太陽光発電用ブレーカON→主電源ONの順で復帰します。



※出典：太陽光発電の賢い使い方
停電・災害時の自立運転
コンセントの活用―【環境省】

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180

RRR
Reduce Reuse Recycle

省資源とリサイクル

37

集められた布類は、再生業者に引き渡され、ぬいぐるみの詰め物などにリサイクルされています。今回は、布類の分別についてお知らせします。

布類で
出せるものは？

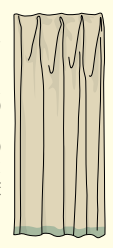
肌着、靴下、下着や衣類



毛布



カーテン



※金属などの異物を取り除いて出してください。大きなものは直接資源化センターへ搬入をお願いします。

この他にも、シーツやタオルも出すことができますよ！



布類で
出せないものは？

布団、座布団



綿入りのものは、直接資源化センターへ搬入してください。

帽子や便座カバー



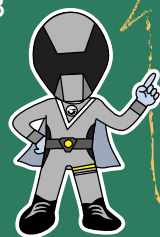
もやせるごみで出してください。

枕やクッション



もやせないごみで出してください。

ごみの分け方出し方パンフレットで確認し、分別にご協力ください。



清掃管理課

☎23局3538
FAX23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー

交 流 通 信



このコーナーでは、田原市の国内外の交流事業や多文化共生事業の情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

津具高原ペンション グリーンメッセージ ～田原市と姉妹都市 設楽町の交流拠点施設「田原市ふれあいの館」～

春夏秋冬、年間を通じて高原の豊かな自然が楽しめる「グリーンメッセージ」をご紹介します。

●グリーンメッセージってどんなところ？

愛知県と長野県の県境、標高約850mの津具高原にあり、道の駅グリーンパークに隣接しています。

春は、雪溶けた山々や、かぐわしい花々などの大自然が、訪れる人たちを出迎えます。夏は、エアコンが



いらないほど涼しく、避暑に最適です。秋は紅葉が目鮮やかで、冬は天体観測やペンション裏で行える雪ソリが人気です。

●自慢の料理と田原市民にお得な割引制度

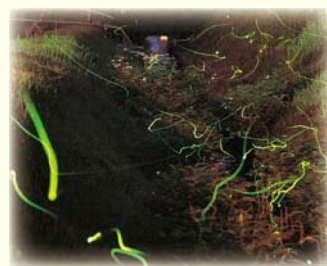
夕食は、山ならではの地元の食材を取り入れた洋食のコース料理と手作りデザートが楽しめます。また、朝食の自家製パンも好評をいただいています。ぜひご

賞味ください。

宿泊は、田原市在住・在勤・在学の方には、お得な割引制度があります。ホームページなどでご確認ください。か、お問い合わせください。

●これからのお楽しみは？

津具地区はホテルの里としても有名で、6月中旬から7月にかけて、幻想的なホテルの乱舞をお楽しみいただけます。フロントで観賞スポットの地図を配布していますので、お気軽に声をかけください。



※グリーンメッセージの詳細は、ホームページをご覧ください。

☎ <http://juns-kitchen.com/> ☎ (0536) 83局2343

◆津波警報 注意報が発表されたら
揺れを感じなくても、警報・注意報が発表されたら、すぐに海岸などから離れ、急いで高台などに避難しましょう。

◆強い揺れや長い時間の揺れを感じたら

ただちに海岸や河川流域から離れ、遠くの避難所よりも、まずは近くの高台など、安全な場所に避難しましょう。



津波の被害に遭わないために、避難のポイントをご紹介します。

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、田原市にも津波警報が発表され、赤羽根漁港では1m以上の津波を2回観測しました。津波の被害に遭わないために、避難のポイントをご紹介します。

今回は、けんちゃんです。今回から「防災知恵袋」を担当することになりました。よろしくお願いします。

けんちゃん
津波避難のポイント

みんなで取り組む防災・減災

防災知恵袋

1



田原市に津波警報・注意報が発表されると、防災行政無線（市内放送のスピーカー）が自動的に作動し、市内全域に放送が流れます。

また、海岸付近にあるスピーカーは、赤色回転灯が光り、目で見てわかるようにお知らせします。

●注意点

・地震の揺れの程度で自己判断しない

「揺れの大きさ＝津波の大きさ」ではありません。沿岸部で震度3程度だったにもかかわらず、大津波が襲来したこともあります。揺れが小さくても、津波が起ることがありますので、自己判断はやめましょう。

・警報・注意報が解除されるまで海岸などには近づかない

津波は繰り返し押し寄せ、第1波より第2波の方が高くなる場合があります。警報・注意報が解除されるまで、低い場所や海岸には近づかないようにしましょう。

▼防災対策課 ☎ 23局3548

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
122



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

貯金で村を救おうとした人々

亀山町の墓地进行調査中に、不思議な石碑を見つけました。この石碑は昭和7年に建てられたもので、石碑の上部の枠には「五萬円貯金」と大きく刻まれています。裏面には、この碑を建てた5人の名前が記されており、貯金の決意を記念して建てられたものようです。石碑が建てられた目的として「貯金」とは、初めて見ました。

石碑には「我等ノ子孫へ記念」と始まり「貯金の目標金額が達成した

ら、そのお金は代々の財産とし、子孫は毎年その利子を受ける」と結んでいます。さて、どんな思いでこの碑を建てたのでしょうか。

明治から戦前にかけて渥美半島の農民の暮らしは貧しく、自給自足が原則でした。農家が収入を得られるようになったのは、養蚕業が盛んになつてからです。それでも楽にならず、賭け事や飲酒など村の生活は乱れることもあったようです。しかし、その頼りの養蚕さえも、昭和初期に起こった世界恐慌のため海外での絹の需要が減り、農村は打撃を受けました。

このような農村の危機を救ったのは、二宮尊徳の「節約しながら働



▲「五萬円貯金」と刻まれた碑

くこと（勤儉）、生産力に応じた消費、富の還元」という教えです。渥美半島では、明治26年、尊徳の教えを普及する三遠農

学社東三支社が野田村に設立されるなど、熱心に農村の改善に取り組み、各村の再建に役立ちました。

その具体的な改善策の一つが、生活を正し、節約したお金を貯金するということでした。もともと日本人には貯金の習慣がなかったため、これは画期的なことでした。そして、尊徳の勤儉の教えや、明治時代終わりから政府が奨励した勤儉貯蓄が定着し、一般にも貯蓄思想が普及し、各村に貯蓄団体ができました。その教えは学校にも定着し、戦後も続いていきます。

この碑を見て思い出したのが、当時の郷土史研究家の藤井敏郎（和地町）がNHK豊橋放送局で紹介した古川吉次郎（小塩津町）の話です。吉次郎は、決して豊かではなかった小塩津村を改革するために、三遠農学社を通じて、農業の勉強会を開いて



▲貯金記念碑（亀山町五斗山）

いました。吉次郎は、特に勤儉の教えを大切と考え、大正8年、節約したお金を貯め、将来に活かそうと「家庭五万円百年計画期成同盟会」を結成し村で貯金を広めました。当時、年18円ずつの貯金でしたが、なかなか思うようにはいきません。しかし、現在の自分たちの生活だけでなく、百年先の自分たちの子孫のことを考え、財産を蓄えようとしたのです。この純粋な心意気が胸を打ちます。

この時代は、貯金を通じて村の改革がなされようとしていました。そのひとつの表れがこの石碑です。しかし庶民が身を削りながら進めた貯金も、その一方で戦争資金の調達に利用されていたのも事実です。

（増山）

今月の
「表紙」

▼緑がまぶしい季節。市内各所で咲くさざなまの花。5月で真先に思い浮かべる花はサツキです。旧暦の五月（皐月）の頃に一斉に咲くことから名前が付いたのだとか。サツキの花言葉には「節約制」があります。電力不足が心配される昨今。日々の暮らしの中で忘れずに取り入れていきたいですね（○）

【表紙の写真】神宮神御衣御料所のサツキ（亀山町）